（別紙２）

店舗名「MAHOROBA」コンセプト

古事記・日本書紀で詠まれている歌
『倭（やまと）は 国のまほろば　たたなづく青垣（あをかき） 山籠（やまごも）れる 倭し麗（うるは）し』
　（大和は国の中でも最もよいところだ。重なり合った青い垣根の山、その中にこもっている大和は美しい）

「まほろば」とは「優れたよいところ」「素晴らしいところ」「住みやすいところ」を意味する日本の古語です。
　（ま（真）、ほ（秀）、ら（接尾語、こちら）、ば（場所）→まほろばに変化
「倭」は「大和」とも書き、現在の奈良県をあらわすとともに、日本自体を「倭」と呼んでいたことから、「奈良県」だけではなく、「日本全体」をあらわすとも考えられます。

人口減少やＩＴ技術の発展等により社会変化が目まぐるしい中、新拠点が発信する、「奈良の歴史文化や、伝統・ストーリーを感じる衣・食・住などの県産品」が、人々の日常生活に潤いをもたらし、心の癒やしになることを期待しています。現代社会に生きる人々の日常生活を、真に最も素晴らしい、住みやすいものにしたいという思いを乗せて、新拠点の名称を「まほろば」とします。

世界の人々に「まほろば」という言葉の響きと美しさを感じていただけるよう、標記を「MAHOROBA」とします。